

ピロリ菌除菌



●ピロリ菌とは・・・

ヘリコバクター・ピロリという細菌で、感染すると慢性胃炎を起こし、萎縮性胃炎を経て一部は胃がんを引き起こすことが知られています。また、胃・十二指腸潰瘍の原因にもなっています。ピロリ菌陽性の場合には除菌をおすすめしております。

●除菌の効果

ピロリ菌による胃粘膜萎縮の進行が抑えられ、胃がんの発症リスクが下がるといわれています。また、胃・十二指腸潰瘍の再発率が著しく低下することも認められています。

●検査方法

血液検査もしくは呼気を採取（尿素呼気試験）して調べます。

●除菌治療の流れ

2種類の抗生物質と1種類の胃酸を抑える薬を1日2回（朝・夕）1週間内服します。

内服終了後、2か月後以降に尿素呼気試験を行い、除菌判定をします。

※1回目の除菌で約60～70%の方が成功します。

除菌がうまくいかなかった場合は薬剤を変更し、再度内服治療を行います。

2回目の除菌で約90%の方が成功します。

除菌判定が陰性でも、まれに偽陰性である場合が1～2%あるため、1年後にもう一度尿素呼気試験を行うことをおすすめしております。

●副作用

主な副作用として、下痢や軟便、味覚異常があります。これは一時的なもので内服が終わればよくなります。

●除菌が成功した場合

低下していた胃酸の分泌が正常に戻るため、ピロリ菌を除菌した方の5～10%で逆流性食道炎が起こるといった報告があります。

一時的で軽微なものが多く、治療が必要になることはまれなため、あまり心配はいりません。

●費用について

保険治療で5000円前後となります。

以下の疾患が認められている場合は、保険での治療が可能です。

(胃・十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、
早期胃がんに対する内視鏡的治療後胃、6か月以内に内視鏡検査で診断
されたヘリコバクター・ピロリ感染胃炎)

お気軽に外来受付へお問い合わせ下さい

みなとみらいメディカルスクエア 外来受付 045-228-2001

